

未利用資源を活用してバイオ産業創出へ 資源分析を支援し、付加価値を高めるマッチングを促進！

産学官金68の企業・機関が参画する長岡バイオエコノミーコンソーシアム（会長・長岡市長。以下「コンソーシアム」）は、市内の未・低利用資源の有効活用を通じて、資源循環型社会の実現と新たな産業の創出を目指しています。

このたび、農業や発酵・醸造といった食品加工業が盛んな本市に着目したコンソーシアムの会員である住友化学(株)からの提案により、同社が提供する、成分分析を介して天然素材の売り手と買い手をつなぐ日本初のデジタル・プラットフォーム「Biondo®」のシステムを活用した取り組みを開始します。これまで用途や需要が見出せなかった資源の可能性を“成分情報”によって可視化することで、新たな活用や事業化を模索する企業とのマッチングを促進します。

1 事業の概要

(1) 事業主体

コンソーシアム

(2) 分析・マッチング

住友化学(株)提供デジタル・プラットフォーム「Biondo®」
※詳細は別紙のとおり

(3) 事業スキーム (右図)

【分析・データベース化】

①長岡企業が資源分析を
コンソーシアムを通して
住友化学に依頼
(分析は6週間程度)

②住友化学から分析結果をコンソーシアムを通して長岡企業へ

【マッチング】

③Biondo®登録企業の資源利用希望が住友化学からコンソーシアムを通して長岡企業へ

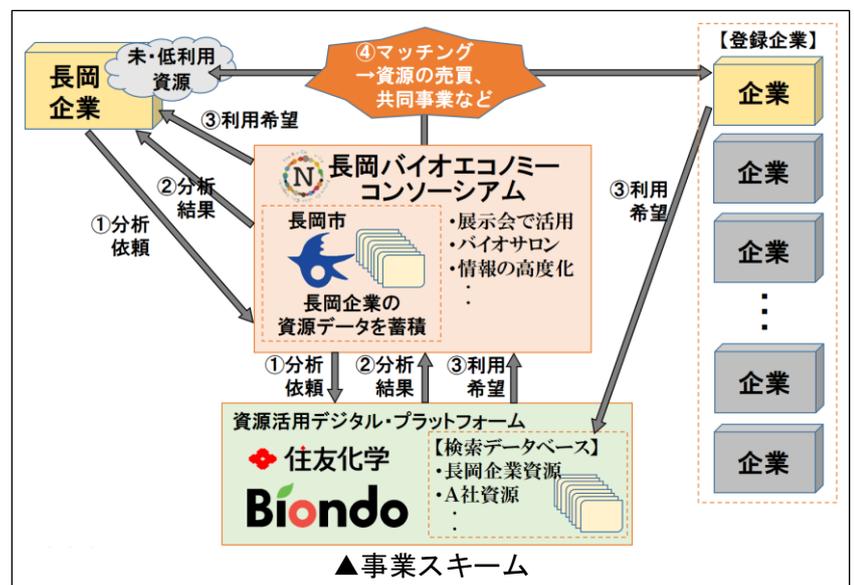
④長岡企業と登録企業が商談（資源の売買、共同事業など）

(4) 分析情報の保有

- ・資源提供企業、コンソーシアム、「長岡・産総研 生物資源循環 BIL」（長岡市、産総研、長岡技科大）、長岡市

(5) 想定される未利用資源

- ・酒粕、醤油粕、魚粕、もみ殻、おから など



▲事業スキーム

(6) 分析費用の負担

・コンソーシアムが全額負担（企業負担はサンプルの配送代のみ）

※本事業は、国の令和6年度補正予算「グローバル・スタートアップ・アクセラレーションプログラム（バイオコミュニティの機能強化）」で、内閣府認定の全国6つの地域バイオコミュニティに対し措置された予算を活用

2 事業の効果

長岡企業（資源提供企業） ⇒ 資源を成分情報で可視化

- ①資源の高付加価値化
- ②自社での利用や販売、新規事業の可能性拡大
- ③住友化学および「Biondo®」の広い企業ネットワークを活用し、オープンイノベーションで他企業とのビジネス促進（販売網拡大、企業間連携、新事業創出）
- ④創薬や健康食品、化粧品など他分野への展開を含め、ターゲットを定めた営業活動の展開

長岡市・コンソーシアム ⇒ データベースとして分析情報を保有

- ①他企業や会員企業に対し成分レベルでの事業提案が可能（横展開）
- ②コンソーシアムの会員の増加により、バイオ分野でのコミュニティ力の向上や企業間連携による新たな事業の創出
- ③資源の活用や高付加価値化が進むことで、バイオ都市としての魅力アップ

3 今後の展開

(1) 分析情報を各種展示会で活用

コンソーシアムが毎年出展している、パシフィコ横浜で開催されるアジア最大級のバイオテクノロジーの展示会「BioJapan」（今年は10月8日～10日。別紙リリースのとおり）などで、県外企業とのマッチング活動で活用していきます。

(2) バイオサロン*開催を通じたマッチング支援

- ①来年1月に住友化学の研究者を講師に、コンソーシアムの会員を対象にBiondo®（仕組み、活用方法、マッチング）をテーマに開催する予定です。

〔※バイオサロン…多様な業種・業態から異なる視点で議論を深め、プロジェクトの芽出しやマッチング、課題解決を進めることを目的とするコンソーシアムの事業〕

- ②来年2月に開催する、コンソーシアムの会員に加え広く県外企業含めたバイオサロンの拡大版「バイオ未来交流会」にて本事業を紹介し、産産・産学マッチングを進めます。

(3) データ解析による情報の高度化

研究機関やIT企業と分析情報と連携し、AIやビッグデータなどを活用した、分析情報と既存製品や論文の情報による比較解析、複数資源の掛け合わせなど、高付加価値化や新たな用途（創薬、健康食品、化粧品など）を資源提供企業に提案できるような情報の高度化を進めます。

〔 問い合わせ
産業イノベーション課 門脇 Tel0258-39-2402 〕